

◆優良賞◆

努力の価値

大住 中学校 三年

風間 咲希

「努力の積み重ねは大切」。確かにそうだろう。しかし、「努力」の中にはこれと言った形が無い。努力と言うことは簡単だが、実行するには難しかったりする。私達は日々、「努力」という言葉にのまねながら生きているが、「努力」する意味とは一体何なのだろうか。

私達は何かを達成するために努力をする。いつか自分が笑う日を夢見て、目標に向かって努力し続ける。「努力は裏切らない」ことを信じて。しかし、現実はその上手くないかないことばかりだ。「あれだけ頑張ったのに」、「ここまで練習してきたのに」と、今まで自分が努力した意味が分からなくなる。ことの方が多かったりもする。私も、その経験者の一人である。私は努力に裏切られたのか。なぜ成果が出なかったのだろうか。そう、思ってしまう。しかし、よく考えてみれば、成果は出ていたのだ。「努力の量」に応じた成果が。努力不足、だったのだろうか。「努力をしている」というただの思考に取り込まれ、実力に計算されていく程の努力ができていなかった。しかし、これは「努力」をした結果である。では、逆の立場で考えてみたらどうだろう。何も苦勞することなく、成果が出なかった場合。「なぜ」と思うよりも先に、「努力しておけば良かった」と結果以前の後悔が残ってしまう。ならば、自分にできるだけのことをして、結果が奮わなかった時の方が良い。努力が報われない、なんてことはないのだと思う。何かが自分に足りてい

ないのだ。

今年八月、パリオリンピック・パラリンピックが開催された。多くの日本人選手も活躍し、メダルも多く獲得した。その中で、メダルを獲得した選手も、惜しくもメダルには届かなかった選手も、彼らなりの「努力」を四年間積み重ねてきたのだ。努力をしていない選手など、誰一人としていないだろう。どんな結果であろうと、できることをした成果だ。結果が奮わなければ、改善点を見つけ、次に繋げる。きっとそれは、選手達にとって意味のある努力だったのでは、と私は思う。

努力をする意味。これに正解は無いと思う。人の数だけ答えがあるのだ。私は、自らを支えていくためなのだと考えた。自分にできることはした、と思えることで少しの自信にも繋がる。いつも「努力」が嬉しい結果に繋がる訳ではない。しかし、届かなかった分を分析し改善していくことで、嬉しい結果に繋がるのだ。きっとどれも「意味のある努力」なのだ。努力をしないより、努力をした方が絶対に価値がある。何事であっても。私はそう思う。人それぞれ、「努力」の形がある中で、これからも私は私なりの努力でできることを続けていこうと思う。今の自分のためでも、未来の自分のためでもある。いつか、「今まで努力して良かった」と思う日へ向けて。